

議事概要

- 1 日 時 平成22年3月29日（月） 午後6時00分から
- 2 場 所 金ヶ作自治会館 1階
- 3 出席者 （委員総数16人中10人出席：座長以外の方は五十音順）
福川座長、飯田委員、飯生委員、石川（直）委員
石橋委員、稲住委員、岩橋委員、高橋委員、土田委員、
中岡委員
- 4 意見内容（要旨）
＜地域貢献施設の整備方針について＞
 - ・高齢者向けの施設は近くに多くあるが、場所によっては空いている施設もあると聞いている。
 - ・今不足しているものとすれば、児童デイ施設だと思う。方針1（児童デイサービス+α）の案は、困っているお母さん方がいるので、捨てがたい。
 - ・第二期では若い人も入ると思うが、保育所など子育て世代向けの対応をしなくてよいのかどうかは気にはなる。
 - ・方針1（児童デイ）と方針3（小規模多機能施設）を比較すると、方針3は十分でないかもしれないが、あることはある。方針1はそうはなくて、施設に入れない人もいて需要があるということのようだ。
 - ・保育所等が不足していることは社会問題となっている。一方で、私も高齢だが、高齢者の利用できる診療所はないことはないが、高齢者専門のドクターがいてくれれば安心ではある。
 - ・実現の可能性があるのであれば、方針3なら方針3で絞り込んでやってもいいのではないか。
 - ・施設整備にどのくらいの費用がかかるのかが分からないと意見を言いにくい、形としては方針3の「まちづくりサロン」については、いろいろな活動ができそうだ。
 - ・このあたりでは大きな病院があるが、高齢者向けの診療などやってもらえれば安心できる。土地を貸付ければ建物整備から事業までやってくれる、

ということであればありがたいのではないか。

- ・誰もが利用できる医療施設や介護事業をやっていただけるとよい。
- ・医療法人が入っていただけるのであれば、是非、訪問診療に取り組んでもらいたい。
- ・小規模多機能は、住宅と一緒にするケースもあって、そこに居住する場合もある。在宅の施設なので周辺の方も利用できる。方針3（小規模多機能施設+ α ）といってもいろいろバリエーションがありそうだ。

<事業者の公募方法などについて>

- ・事業者の選定はどのように行うのか
⇒事業者の選定の方法については、県の内部でやるのか、外部委員会をつくるのか、地元の方にはいって頂いた委員会とするのか、いろいろな形式が考えられる。
- ・公募にあたっては、実際には相当ネゴシエーションが必要となるのではないか。
⇒公募の方法については方針を定めているわけではないが、3つの方針を提示して公募するやり方もあるし、一つの方針に絞るやり方もある。また、1回で決めないで、二段階で事業者を決めるというやり方もある。研究会の意向を踏まえて今後考えていきたい。
- ・地域貢献活動については、是非我々のようなNPOなどが参加できるような形にして欲しい。

<まとめ（座長）>

- ・大方の意見は実現可能性などを考えると方針3（小規模多機能施設+ α ）であるが、是非、方針1（児童デイ+ α ）の可能性も県と市とで検討して頂けたらということ、どうしても難しい場合に方針3で検討ということ考えて欲しい。
- ・方針3についても、県営住宅もあれば昔ながら住んでいる人も居るといって当該地域のコミュニティの特性を踏まえ、事業者と調整してうまく設計して欲しい。そういう意味で県営住宅が地域社会の核となるモデルになるとよい。